第２編 【住まい手向け】 長持ち住宅ガイドライン
第Ⅲ章 木造住宅の長期使用に向けた屋根、外壁、床下のメンテナンスガイドライン

関連報告

各種屋根葺き材による経年変化事例調査

【目次】

◆ 粘土瓦葺き・・・・・・・・・・・・・・・ 89

◆ 化粧スレート葺き・・・・・・・・・・・147

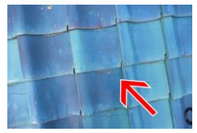
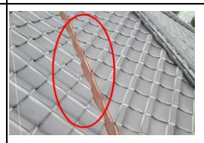
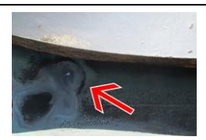
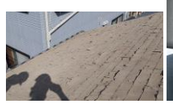
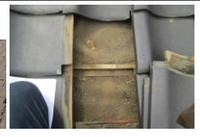
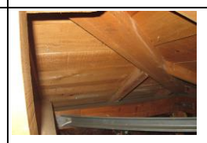
◆ 金属葺き・・・・・・・・・・・・・・・・201

◆ アスファルトシングル葺き・・・・・・227

◆ セメント瓦葺き・・・・・・・・・・・・237

作成者：一般社団法人 全日本瓦工事業連盟 杉浦憲児、石川弘樹

粘土瓦葺きによる経年劣化事例調査表

経年変化要因・部位	劣化レベル１　経過観察	劣化レベル２　部分補修、部分交換	劣化レベル３　大規模改修、葺き替え
平部	 瓦のねじれ３０年  いぶし変色  いぶし変色	 瓦浮き２５年  瓦ひび３０年  重なり部ほこりによる漏水	 瓦の凍害多数有り５０年
軒部	 落雪	 さび釘穴欠損  瓦の凍害４５年  鉄釘のサビ膨脹による割れ３０年  広小舞のくさり３０年	 土葺きのずれ９０年  長期雨漏れによる木部野地のくさり３５年  軒タルキの破損  雨漏れによる軒天の腐朽
袖部		 袖瓦の欠落  凍害４０年  風切丸のくずれ  袖瓦のめくれ	 袖瓦欠落  土葺瓦のずれ　袖瓦欠落  袖瓦の欠落
壁際部	 半端瓦のずれ２５年		 サッシ下木部のくさり２５年
棟部	 泥の詰まり２５年	 シックイの剥離  シックイの剥離  シックイの剥離  鬼瓦の欠落	 棟瓦のずれ３０年  棟瓦のずれ３０年  棟瓦のずれ３５年  棟瓦のずれ４０年
谷部		 谷板金サビ鉄板２５年  谷板金穴銅板３０年	 雪によるすがもれ
下葺き	  杉皮トントン葺き３０年　アスファルトルーフィング９４０２５年  瓦の下の雨染み  瓦の下の雨染み	 アスファルトルーフィング９４０穴３０年	 縮み塩ビ系ルーフィンブ  縮み塩ビ系ルーフィンブ  縮み塩ビ系ルーフィンブ  縮み塩ビ系ルーフィンブ
小屋裏	 通常	 雨漏れ  雨漏れ  天井雨漏れ	 長期の雨漏れ
緊結部	 瓦桟鉄釘のさび	 軒瓦銅線吊りの切れ３０年  袖釘鉄さび  棟瓦緊結銅線大まわし	 瓦桟の座屈２５年  瓦桟の割れ１５×１５

TOPへ

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　桟瓦　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

30 年前当時の瓦は、現在と違い
多少のねじれのある商品がある。
瓦の下に雨漏れ等がなければ、
問題なし。
経過観察



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 ■その他（　瓦のねじれ　　）　□不明
補 修 内 容	雨漏れ等がある場合、部分交換
耐久性向上の提案	現行の商品は、ねじれが少ないため交換

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	千葉県印西市
立 地 条 件	農村部
竣 工 経 年	（　　）年 ～ （　　）年 ＝（ ５０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅 □その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法 □その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻 ■寄棟 □片流れ □入母屋 □その他(　　) □不明
屋 根 勾 配	（ 6 ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板 □その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード □硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板 ■木材(バラ材) □木材(幅板) □その他(　　) □不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940 □改質アスファルトルーフィング □透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング □土居葺き ■樹皮系 □その他(　　）□不明
瓦 桟 木	■木質系 □プラスチック系 □その他（　　） □不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦 □プレスセメント瓦 □化粧スレート □金属 □アスファルトシングル・不燃シングル □その他（　　） □不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺） □土葺 □直葺（野地板直打ち） □通気たて桟構法 □その他（　　） □不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部 □軒部 □けらば部 □大棟 □隅棟 □その他棟部 □谷部 □壁際部 □トップライト □雪止 □煙突 □その他（　　）□不明
発 生 階	■１階 □２階 □３階 □その他（　　） □不明
方 位	□東 ■西 □南 □北 □不明

経年変化記録 部材（ 粘土瓦 ）(説明文・写真・図)

□ひび □割れ □剥離 □欠損 □変形 □反り □縮み □ずれ □腐食（錆） □腐朽 ■変色 □汚れ
□かび □こけ □堆積物有り □シーリング切れ □その他（　　）

いぶし瓦の変色
以前より濃くなった。
いぶし瓦の特性
防水性強度に問題なし。



主な作用因子	■雨水 □結露水 □風 □地震 □雪 □低温 □高温 □虫 □鳥 □植物 □塩分 □踏み割れ □飛来物 □ほこり □火山灰 □化学物質 ■紫外線 □その他（　　） □不明
補 修 内 容	経過観察 塗装不可（早期に塗膜が剥離する）
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　６　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　■改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　瓦本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

いぶし瓦は経年により色が
濃くなり、場合よっては、
むらがでるのが特性。
耐久性、防水性に問題なし。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	経過観察
耐久性向上の提案	ペンキ等の塗装工事不可。塗材の塗膜の剥離がおきる。

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　) ■不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　桟瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

台風時に桟瓦がめくれ、
瓦の下に雨水が浸入した。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	葺き直し
耐久性向上の提案	桟瓦の釘留め

一覧へ戻る

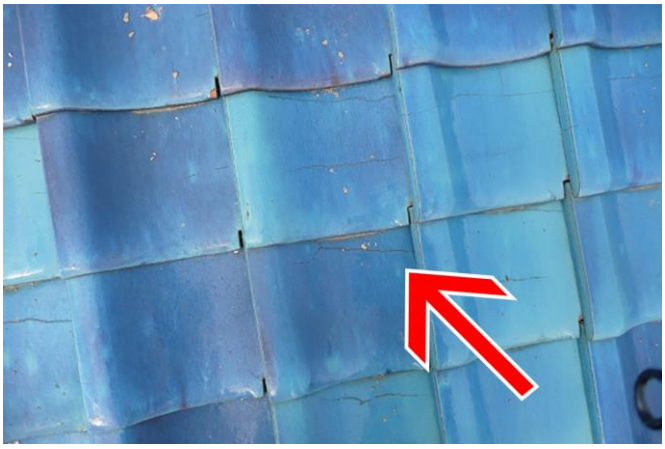
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　桟瓦　　）(説明文・写真・図)

■ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

桟瓦の表面にひびが入っている。
現在は、瓦の裏までひびが貫通していないが、今後ひびが大きくなると、欠落や雨漏れをおこす場合がある。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	桟瓦差し替え交換
耐久性向上の提案	現行品は、ここまでひびが入るものは少ない。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	近くに畑が多い
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　　桟瓦　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

土ほこりの多い場所
瓦の重なり目に土が堆積し、長期による雨水を土が吸い上げ、瓦下に漏水した。
今後瓦下の漏水が、瓦桟の腐朽（瓦のずれ）室内への漏水等を招くおそれ有。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	瓦の葺き直し（堆積物の除去）
耐久性向上の提案	たて桟通気工法や防水性の高い防水下地に変更

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ５０）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　桟瓦　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

冬に瓦が含水して凍り、膨脹を繰り返し、表面が剥離した。（凍害）
過去の瓦で含水率の高い製品もあった。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	瓦の交換
耐久性向上の提案	含水率の低い瓦を使用

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

屋根面に積もった雪がまとまって滑落し、庭木を破損した。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雪止瓦、雪止金具後付工事
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　軒瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

軒瓦の留付に使用されていた釘が鉄釘だったため、錆びて膨脹し瓦が割れた。
軒瓦の破損により欠落のおそれ有。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	軒先付け直し工事、破損瓦交換
耐久性向上の提案	ステンレス等、錆びづらい釘に変更

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　　軒瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

粘土で冬場水分を吸収し
凍ると、このように表面剥離
がおきる場合がある。凍害
凍害が進行すると、割れ、
欠落、雨漏れのおそれがある。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	部分交換
耐久性向上の提案	現行の商品は、このような凍害は少ない。

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　３０）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　軒瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

軒瓦を留付に鉄釘を使用。
釘の腐食により膨脹して
瓦を破損欠落。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	軒瓦交換工事
耐久性向上の提案	錆びに強いステンレス釘、ビスに変更

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市原市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　野地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨樋に土ほこりがたまり、機能されておらず、雨樋に当たった水が跳ね返り、野地（広小舞）が常に濡れて、腐朽した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨樋掃除、広小舞の腐朽部交換
耐久性向上の提案	広小舞キャップ（板金）等でカバーする。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県浦安市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ９０ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　■その他(倉　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ６ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　■土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　■土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　　軒先　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

瓦土葺。
葺き土を止める桟木が腐朽して
葺き土と一緒に瓦が下方向に、
全体にずれてきている。
点検されておらず、長期にわたり
雨水が浸入していたと思われ、木
部の腐り、瓦、葺き土のずれ。
瓦の欠落のおそれ有。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	葺き直し（瓦が引掛桟工法に対応されてない場合やはり土葺）
耐久性向上の提案	瓦の交換、引掛桟工法、釘止め

一覧へ戻る

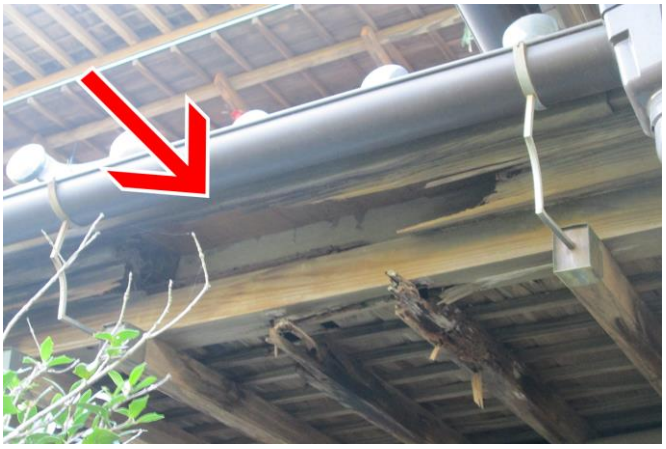
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	屋敷林の中
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　軒先木部　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

瓦のずれによる雨漏れを長期にわたり軒天並びに広小舞を濡らし、木部が腐朽した。
このままですと屋根自体が崩れ落ちるので腐朽木部の交換



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	腐朽木部の交換後、瓦部葺き直し
耐久性向上の提案	防水紙２層貼りなど高防水にする。 また、瓦桟をうかし、浸入した雨水を途中で溜めないようにする。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地垂木　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

桟瓦が破損部より長期にわたり雨漏れ。
野地板を支える垂木が腐朽していたと思われる。
雪の荷重により桁より先の垂木ごと破損し瓦が欠落した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地板をはがし垂木補修。野地、防水紙、瓦の葺き直し
耐久性向上の提案	垂木補強、雪止瓦の設置

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　軒天ベニア　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

長期にわたり雨漏れしていて、破風板と軒天の部分に水が溜まっていたと思われ、軒天ベニアが腐朽。
剥離部より水が出てきた。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨漏れ部の補修、軒天ベニアの交換
耐久性向上の提案	水抜き穴と設ける。点検をする。

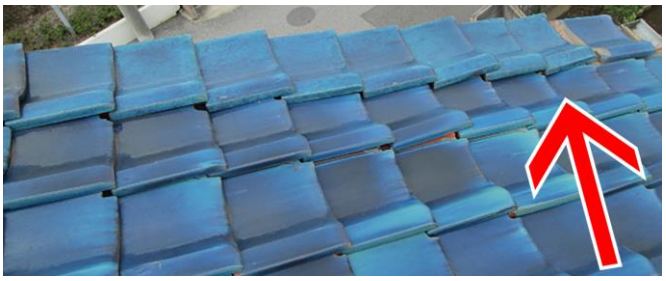
一覧へ戻る

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　袖瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

台風によって袖瓦がめくられ
袖付用の銅線が切れていた。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	袖瓦付け直し
耐久性向上の提案	袖瓦の留付を銅線から、ステンレスビス留等に強化する。

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　袖瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

粘土瓦の表面の剥離。
冬に吸水した水が凍り、
膨脹して、表面が剥離
したと思われる。
剥離を放置しておくと、
割れ、欠落するおそれ有。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	剥離した瓦の交換、袖瓦の付け直し。
耐久性向上の提案	現在生産されている瓦は、このような凍害がでるケースは少ない。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県鎌ヶ谷市
立 地 条 件	農家　屋敷林の中
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ５０ ）年
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　■その他(倉　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（6　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　風切丸　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

袖瓦際の風切丸が崩れ中の土が露出。土に風に運ばれた種子により植物が根を張り、奥の方まで崩れた。
このまま放置しておくと、植物の根によって、瓦下に雨水の浸入のおそれ有。
瓦の脱落のおそれ有。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	植物の伐採、風切丸の取り直し
耐久性向上の提案	風切丸の取り付けに草の生えづらいナンバンモルタルを使用。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０）年
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　袖瓦　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

銅線緊結されていた袖瓦が、大風であおられ銅線が切れめくられ欠落。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	袖瓦の付け直し
耐久性向上の提案	釘、ビス等による緊結

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　１５）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　■改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	15 年前に平板瓦の葺き替えた
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　袖瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

すがり部、袖瓦上部より
雨水が入り、下地木部が
腐り、袖瓦が欠落した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地、袖、木下地の交換、袖瓦の付け直し
耐久性向上の提案	袖瓦上部雨水の浸入口をシックイでなく、シリコン等でふさぐ。木部防腐材を使用する。

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ５０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ 6 ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　■その他（ なし　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　■土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　袖瓦　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

土葺工法、袖瓦がまとまって落ちていた。
土が水を吸い雨漏れがした。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	袖瓦の付け直し
耐久性向上の提案	袖瓦の留付に土だけでなく銅線吊りをする。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　１５）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　■改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	15 年前に平板瓦の葺き替えた
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　袖瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

すがり部、袖瓦上部より雨水が入り、下地木部が腐り、袖瓦が欠落した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地、袖、木下地の交換、袖瓦の付け直し
耐久性向上の提案	袖瓦上部雨水の浸入口をシックイでなく、シリコン等でふさぐ。木部防腐材を使用する。

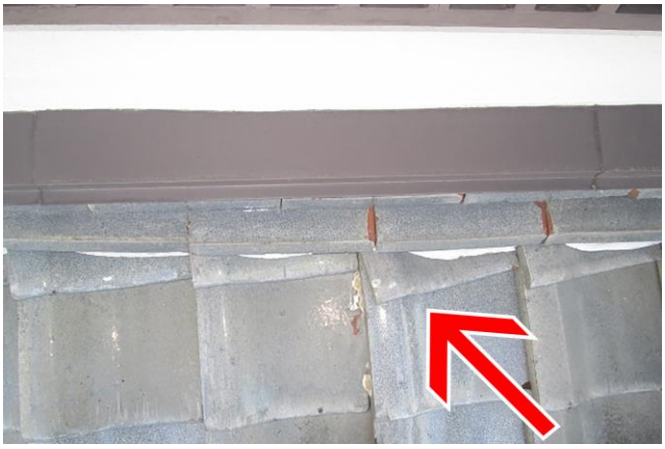
一覧へ戻る

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　■壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　桟瓦、のし瓦　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

壁際桟瓦（半端瓦）が地震により、葺土、シックイから剥がれずれている。
欠落や雨漏れのおそれ有。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	壁際のし、桟瓦葺き直し
耐久性向上の提案	のしを木下地桟に釘止め等、全数緊結する。

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　■壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

アルミバルコニーと窓建具、瓦の取合い部の雨漏れして建具が腐朽した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	バルコニー脱着、窓建具交換、バルコニー取付
耐久性向上の提案	取合い部水切板金にて瓦上に水を流す。

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	農家
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　■入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ６ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　■その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　棟瓦　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　■その他（植物生える　）

入母屋の棟、隅棟、風切丸の取合部、落葉枯草のたまりやすいところ。
草が生えてきた。
草の根が棟内部に生えると、棟瓦がくずれ雨漏れをおこすおそれがある。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	草木の伐採、根が棟瓦の下に生えてたら、棟瓦取り直し。
耐久性向上の提案	たまに点検、落葉のつまりを掃除する。

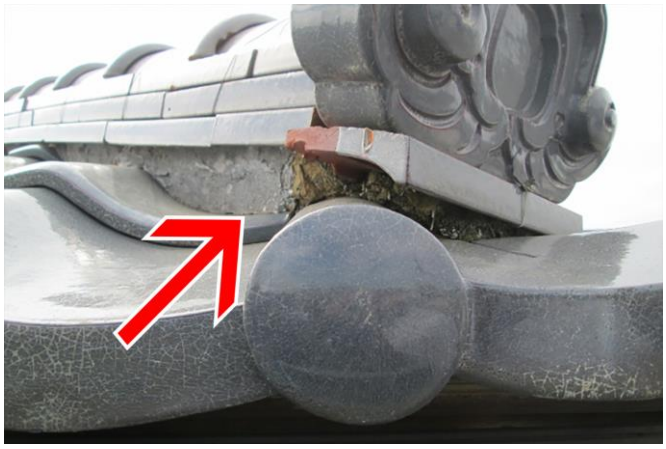
一覧へ戻る

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　■不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（棟シックイ　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟瓦の留付に使用する葺土が風雨によって流出しないようにシックイで覆う。
長年により、葺土とシックイが肌別れして剥離した。
このまま放置しておくと、中の葺土が流出、棟瓦の崩れ、欠落、雨漏れをおこすおそれ有。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	シックイを取り除き再度塗る。交換、重ね塗りは勧めない。
耐久性向上の提案	棟に葺土とシックイを使用せずナンバンモルタルを使用する。

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　■入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ６ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　■土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（棟シックイ　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

地震後点検したら、大棟面戸が数ヶ所欠落していた。このまま放置しておくと、中の葺土が流出、棟瓦のくずれ、欠落、雨漏れをおこすおそれ有。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	シックイを取り除き、再度塗る。交換、重ね塗りは勧めない。
耐久性向上の提案	棟に葺土とシックイを使用せず、ナンバンモルタルを使用する。

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　シックイ、葺土　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟瓦の留付に使用する葺土、シックイが剥離して、雨水にあたり流出している。
棟中央部より雨水が瓦下に浸入し雨漏れをおこすおそれがある。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	シックイ交換または棟取り直し
耐久性向上の提案	なんばんシックイ等を使用して、表面の剥離をなくす。

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	農家　屋敷林の中
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　■入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　６／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　■その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　鬼瓦　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

入母屋根の下り棟鬼
雪が滑落して鬼に荷重がかかり鬼瓦の留付部が破損、欠落した。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	下り棟の取り直し
耐久性向上の提案	雪がまとまって落ちないよう雪止瓦の設置

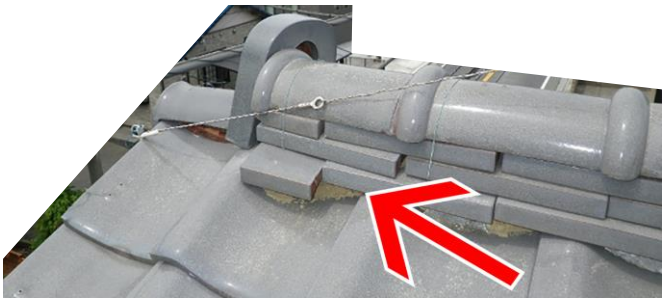
一覧へ戻る

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	旧街道沿い
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　３０）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　のし瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

地震で屋根が揺すられ、棟瓦がずれていた。
このままだと瓦が欠落し下の人や物に被害をもたらす。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟の取り直し
耐久性向上の提案	瓦全数緊結。強力棟工法など。

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ １０ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　■不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　棟瓦　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟瓦がずれている。
強風にあおられて
ずれたと思われる。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟の取り直し
耐久性向上の提案	強力棟工法でビス留め

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　３５）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　棟瓦　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟瓦がずれている。
銅線緊結されてはいるが、
中のシックイ、土ももろく、
風や地震で揺すられたと思う。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟の取り直し
耐久性向上の提案	強力棟工法のビス留め。

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　棟瓦　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

地震により棟瓦がくずれ欠落した。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

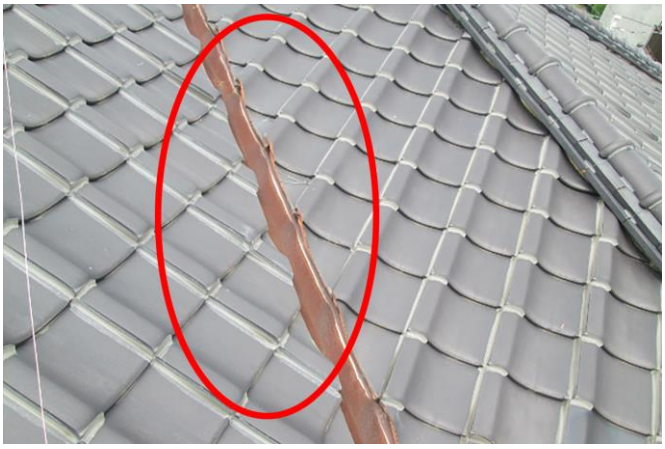
主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟瓦の積み直し工事
耐久性向上の提案	強力棟等を使用する。全数緊結（全瓦連ガイドライン工法）

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　２５）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　■谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　本谷水切　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

谷部に使用されている鋼板が錆により腐食した。
鋼板の腐食が進行すると穴があき、雨漏れをおこすおそれがある。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	本谷板金の交換工事
耐久性向上の提案	錆に強い鋼板に変更する

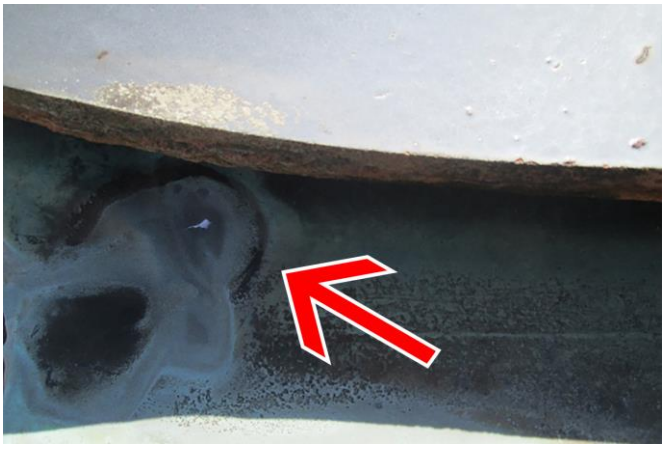
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市原市
立 地 条 件	農家の屋敷林
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　■入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　■谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　本谷板金　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本谷板金　銅製
雨水が主に当たるところが
腐食して穴があいている。
雨漏れをおこした。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　■化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	本谷板金交換工事
耐久性向上の提案	銅は同じ厚みなら鉄板より耐久性はあるが、30 年以降は、こまめに点検と早めの交換

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　３０）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　■谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　谷　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

陸谷部に雪が溜まり、雪解け時に雨漏れ。
谷板金と瓦の間に、落葉が堆積していて、水を吸い上げ谷際より雨漏れ。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	堆積物の除去、瓦の葺き直し
耐久性向上の提案	谷メンドシーラーや落葉除けネット取付

一覧へ戻る

物件所在地	東京都北区
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（４０　）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　防水下地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

瓦の破損による雨漏れによる葺き替え。
40 年前の樹皮系の下葺材は、至って健全だった。

問題なし



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	ほこりは溜まっていたが、下葺材に破れ、剥離なし。
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　防水下地　　）(説明文・写真・図)

■ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　■縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

防水下地アスファルトルーフィング 940
20 年経っているが、割れや伸縮等の劣化は見られない。
問題なし。
経過観察



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	経過観察、今後不具合が生じれば葺き直し。
耐久性向上の提案	防水性耐久性の高い改質アスファルトルーフィングに変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　防水下地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　■汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨漏れ調査の場合、瓦をはずし防水紙を見ると、水が浸入した形跡が残っている場合がある。
どこからもったのか原因がわかる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨漏れ部の補修
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　防水下地　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　■汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨漏れ調査の場合、瓦をはずし防水紙を見ると、水が浸入した形跡が残っている場合がある。
どこからもったのか原因がわかる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨漏れ部の補修
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市原市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ５ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　防水下地　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

アスファルトルーフィングが割れていた。長期にわたり、雨水の浸入があり、野地板が腐朽。
瓦をめくると、防水紙が熱によりもろくなって穴があいていた。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 ■踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	防水紙の交換、瓦の葺き直し
耐久性向上の提案	曲げ等に強い改質アスファルトルーフィングに変更

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（防水下地　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　■縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

防水下地が熱により縮みがおきている。
重なり 100 ㎜あったものがそれ以上縮み、野地が露出している。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明 プラスチック系の防水紙、熱による縮み
補 修 内 容	葺き直し工事（防水紙、瓦桟の交換）
耐久性向上の提案	熱に強く、防水性の高い下葺材に変更

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　４０　）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　　防水下地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　■縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

高分子系ルーフィング
熱による劣化、縮み、釘や針の穴が広く裂けている。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	防水紙の交換、瓦葺き直し
耐久性向上の提案	伸縮の少ない防水紙に変更

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　防水下地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　■縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

高分子系ルーフィング
熱による劣化、縮み、
釘や針の穴が広くさけて
いる。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	防水紙の交換、瓦葺き直し
耐久性向上の提案	伸縮の少ない防水紙に変更

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　防水下地　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　■縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

高分子系ルーフィング
熱による劣化、縮み、
釘や針の穴が広くさけて
いる。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	防水紙の交換、瓦葺き直し
耐久性向上の提案	伸縮の少ない防水紙に変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　■その他（ 小屋裏　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（ 野地板 ）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　■反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　■変色　□汚れ
■かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨漏れのしていない健全な野地板。
30 年たった今でも雨漏れ、結露がおきなければ新築時の状態が保たれていた。



主な作用因子	■雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	経過観察
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　■その他（　小屋裏　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨漏れをおこしたばかりの野地板。
雨漏れをおこすと野地板が吸収してこのように色が濃くなり雨漏れ箇所を発見することが出来る。
小屋裏の換気がとれていれば、いずれ乾燥し、また健全な状態に戻る。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨漏れ原因をみつけ補修する。
耐久性向上の提案	

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　■その他（ 小屋裏　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（ 野地板 ）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨漏れをおこしたばかりの野地板。
雨漏れをおこすと野地板が吸収してこのように色が濃くなり雨漏れ箇所を発見することが出来る。
小屋裏の換気がとれていれば、いずれ乾燥し、また健全な状態に戻る。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨漏れ原因をみつけ補修する。
耐久性向上の提案	

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市原市
立 地 条 件	農家の屋敷林
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　４０）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　■入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　■その他（　室内　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　天井板　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　■汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨漏れのため、天井板がぬれ、変色、汚れが出た。無垢材の場合は、乾燥しても跡が残る。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨漏れ部の補修後天井の洗い、もしくは交換
耐久性向上の提案	無垢材は、濡らさなければかなり長持ちします。雨漏れする前の点検

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　６０）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　■土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　小屋裏　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
■かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

長期による雨漏れのため、
野地板が含水して腐朽した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地板の交換　瓦の葺き直し
耐久性向上の提案	高耐久の防水下地に変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　２５）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　瓦桟木留付釘　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

瓦桟木の留付に鉄釘が
使用されていた。
釘に赤錆がでている。
現在表面のみで、釘の
切れ等は見受けられない。
経過観察



主な作用因子	■雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	今後腐食が進むと瓦桟が欠落するため、瓦桟木の交換
耐久性向上の提案	留付釘を錆に強いステンレス製に変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　■樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（軒瓦の緊結材　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

軒瓦の緊結に銅線づり。
銅線が腐食し、軒瓦にかかった雪等の加重により欠線。
軒瓦の欠落のおそれ有。



主な作用因子	■雨水　■結露水　□風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	軒瓦の付け直し
耐久性向上の提案	釘穴がある場合、スクリュー釘またはビスにて固定

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　袖釘　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

袖瓦の留付に鉄釘を使用。
錆による腐食が見受けられる。
現在まだ欠断されてはないが、腐食が進むと釘の切れ、袖瓦の欠落するおそれ有。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	袖瓦の付け直し
耐久性向上の提案	錆に強く引き抜き強度の高い、パッキン付ステンレスビスに変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県印西市
立 地 条 件	農林
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング ■高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　棟部緊結材　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　■ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

40 年前の棟施工。
銅線大まわしが多い。
瓦が緊結されていないため地震等で揺れた際、腐食した銅線が緩み、棟瓦が外に飛び出してきている。
欠落のおそれ有。



旧工法による施工も考えられる。改修および新築時は、「瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン」による施工が推奨される。

主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　■地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟瓦の積み直し
耐久性向上の提案	現行ガイドライン工法（全数緊結）

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　瓦桟木　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

長期にわたり雨漏れがしていて、瓦桟木にて水を塞き止め、瓦桟木留付釘のさび、瓦桟木の腐朽が生じている。瓦のすれ、欠損の原因となる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	瓦桟木の交換（瓦の葺き直し）
耐久性向上の提案	瓦桟木防腐処理、たて桟工法

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	■粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　瓦桟　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

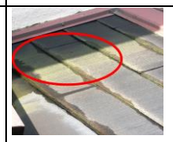
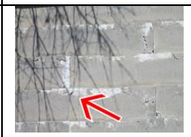
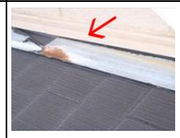
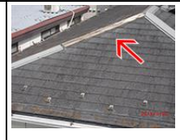
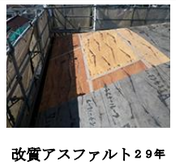
瓦が破損していて気づかず、長期にわたり雨水の浸入。瓦桟が腐朽して瓦全体が下にずれていた。
瓦桟の腐朽が広範囲に進行すると、瓦全体が欠落するおそれ有。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 ■踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	瓦桟の交換　瓦の葺き直し
耐久性向上の提案	瓦桟（防腐処理材）たて桟または水抜き穴付を使用

一覧へ戻る

化粧スレート葺きによる経年劣化事例調査表

経年変化 要因・部位	劣化レベル１　経過観察	劣化レベル２　部分補修、部分交換	劣化レベル３　大規模改修、葺き替え
平部	 苔が繁茂  塗膜の劣化  切断部の剥離	 台風によるめくれ  再塗装による目地詰まり  本体のめくれ  本体のひび	 本体基材の剥離  本体の反り  スターター表面剥離  野地の腐朽
軒部		 苔発生	 台風によるめくれ  野地の腐朽  野地合板の腐朽
袖部			 ケラバ部より雨漏れ  ケラバ部より雨漏れ  野地の腐朽  袖際野地腐朽
壁際部		 板金のサビ	 捨て張りなし漏水  捨板金のサビ  板金のサビ
棟部	 もらいサビ	 棟木下地の腐朽  棟釘の浮き  棟木下地の腐朽  棟木下地の腐朽	 棟メタルの欠落  片棟部漏水野地の腐朽  野地の腐朽  隅部の軒先極と野地合板の腐朽
谷部		 本体飛来落下	
下葺き	 改質アスファルト２９年  改質アスファルト２９年  改質アスファルト２９年		 アスファルト９４０波うち
小屋裏	レベル３	 雨漏れ  雨漏れ  野地の腐朽  野地の腐朽  野地の腐朽  野地の腐朽  野地の腐朽  野地垂木の腐朽  野地垂木の腐朽  野地桁の腐朽	
緊結部	 ステープル  本体釘  太陽光ビス孔シーリング２８年	 棟木下地の腐朽２０年  棟釘のサビ２０年  留付フックのサビ３０年	

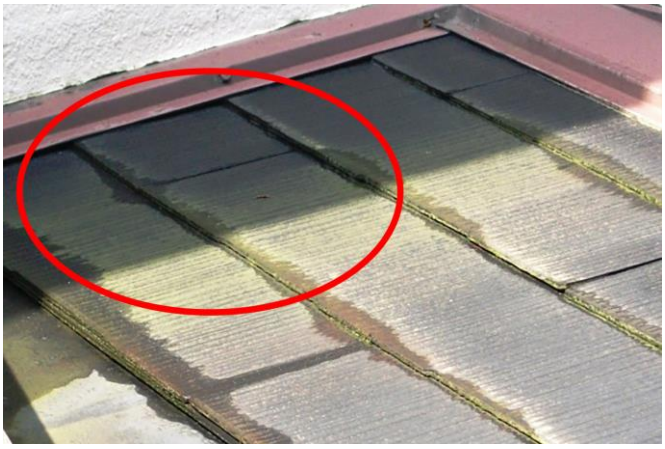
TOPへ

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)　■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　■壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　スレート本体　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

北側壁際にこけが生えている。本体の重なり目にこけが入り込むと、水を吸いやすく、雨漏れをおこす原因になる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	こけの除去、高圧洗浄や薬品の塗布
耐久性向上の提案	塗装する際、こけの付きづらい塗装材あり

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅密集地
竣 工 経 年	（　　）年 ～ （　　）年 ＝（ １５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅 □その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法 □その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻 ■寄棟 □片流れ □入母屋 □その他(　　) □不明
屋 根 勾 配	（ ４．５／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板 □その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード □硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板 □木材(バラ材) □木材(幅板) □その他(　　) □不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940 □改質アスファルトルーフィング □透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング □土居葺き □樹皮系 □その他(　　）□不明
瓦 桟 木	□木質系 □プラスチック系 □その他（　　） □不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦 □プレスセメント瓦 ■化粧スレート □金属 □アスファルトシングル・不燃シングル □その他（　　） □不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺） □土葺 ■直葺（野地板直打ち） □通気たて桟構法 □その他（　　） □不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部 □軒部 □けらば部 □大棟 □隅棟 □その他棟部 □谷部 □壁際部 □トップライト □雪止 □煙突 □その他（　　）□不明
発 生 階	□１階 ■２階 □３階 □その他（　　） □不明
方 位	□東 □西 □南 ■北 □不明

経年変化記録　部材（スレート本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび □割れ □剥離 □欠損 □変形 □反り □縮み □ずれ □腐食（錆） □腐朽 ■変色 ■汚れ
□かび ■こけ □堆積物有り □シーリング切れ □その他（　　）

本体塗膜が劣化し、基材のセメントが
露出している。
撥水能力の低下により、吸収しこけが
全体に生えている。



主な作用因子	■雨水 □結露水 □風 □地震 □雪 □低温 □高温 □虫 □鳥 ■植物 □塩分 □踏み割れ □飛来物 ■ほこり □火山灰 □化学物質 ■紫外線 □その他（　　） □不明 塗膜の経年劣化
補 修 内 容	洗浄後、塗装工事（防水性能の向上ではない）
耐久性向上の提案	葺き替えまたはカバー工法

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　■谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　スレート本体　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

谷部の本谷切断面の塗膜の剥離。
本体割れ、ひびはないが、剥離したところから水分を吸収し、表面剥離が進行するおそれがある。
経過観察



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	剥離部から水分を吸収しないように、塗装膜で保護する
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地（駐車場脇）
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　６／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（スレート本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

台風で棟際スレート本体が剥離。
飛来落下。



主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明 隣が広い駐車場の為、風当たりが強い。
補 修 内 容	破損部交換工事
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	塗装工事
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

化粧スレートのメンテナンスに塗装工事があるが、塗装材が本体の重なり目をふさぐおそれがある。
塗装後必ず重なり目を縁切りをした水の出口をふさがないようにする。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 ■その他（　毛細管現象　）　□不明
補 修 内 容	塗装後必ず縁切りをする
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地　駐車場横　風強い
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ５ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	一度、塗装工事
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（カラーベスト本体　）（説明文・写真・図）

□ひび　■割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

強風により、カラーベスト本体が割れ、欠損した。
本体釘孔が露出しているため雨漏れするおそれ有。
破損した屋根材が下の車にあたるおそれ有。



主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	欠損部の本体をボンド止めまたは交換
耐久性向上の提案	20 年の経年劣化により、本体がもろくなっている。 葺き替えをお勧めします。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ３ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　スレート本体　）(説明文・写真・図)

■ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

スレート本体にひびが発生している。
このまま進行すると破損、欠落するおそれがある。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　■地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 ■踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨漏れや欠落をするおそれがないものは、シーリングで保護をする
耐久性向上の提案	葺き替え、交換

一覧へ戻る

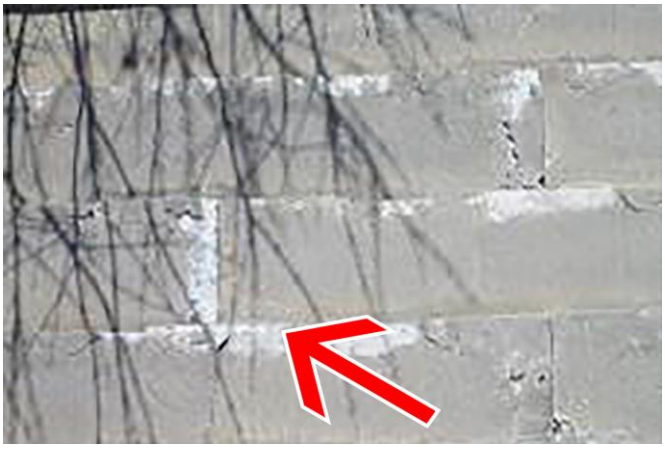
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県佐倉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ３ ／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　■土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	15 年前に葺き替え
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

スレート本体表面が剥離してきた。
剥離部より本体が水分を吸収してもろくなり、割れがでている。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 ■踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	本体交換工事
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

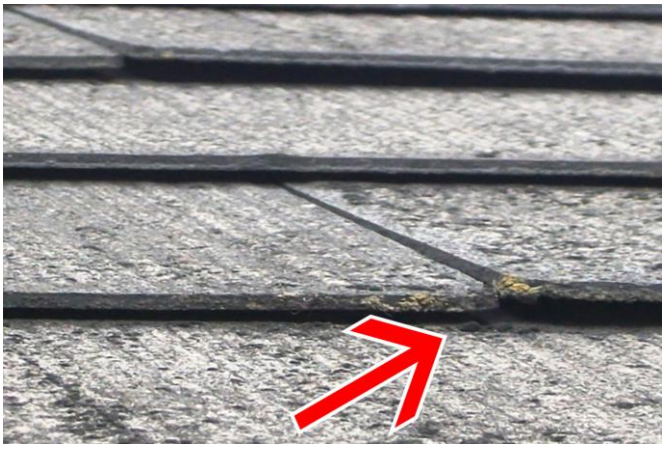
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ３ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) ■パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　■反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

カラーベスト本体が塗膜の劣化が進み、基材が含水。本体に反りが生じている。重なり部内部にある本体釘孔に雨水が浸入して、雨漏れをおこす恐れが有る。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	カラーベストの葺き替え工事
耐久性向上の提案	表面塗膜の高耐久商品に変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　■谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　軒先スターター　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

谷部の本谷切断面の塗膜の剥離。
本体割れ、ひびはないが、剥離したところから水分を吸収し、表面剥離が進行するおそれがある。
経過観察



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	剥離部から水分を吸収しないように、塗装膜で保護する
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ５ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　■変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

経年劣化が進み本体釘穴から漏水。野地板が腐朽した。
葺き材は工事により撤去中。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地板張り増し、または交換
耐久性向上の提案	高耐久の防水紙に変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ３ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　　本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

屋根面全面にこけが生えている。
長期にわたる塗膜の劣化により消失し水分を吸収しているので、南面にもこけが生えている。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	こけの洗浄、再塗装
耐久性向上の提案	本体がもろくなっている場合は、全面葺き替え

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県市原市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４．５　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

台風時軒先部よりめくられ破損、飛散した。



主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　■飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	破損部差し替え工事
耐久性向上の提案	日頃から点検、本体の浮き、反りは早めの補修

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４．５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　■変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

野地合板に漏水痕有。
軒先水切からオーバーフローしたと思われる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地腐朽部の交換
耐久性向上の提案	軒先水切の形状変更

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　■不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　■不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　野地合板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

屋根軒先部の野地腐朽



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	カラーベスト本体、防水下地、野地合板の交換
耐久性向上の提案	軒先部の水切形状の交換（広小舞キャップ等）

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年　不明
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　野地板　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　■汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

ケラバ部の漏水。
本体ケラバ部より雨水が浸入。
ほこり等により、排出口が
ふさがれ内部に水が浸入。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	カラーベスト本体、ケラバ水切の交換
耐久性向上の提案	本体ケラバ部水切加工（排出経路の確保）

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年　不明
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　野地板　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　■汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

ケラバ部の漏水。
本体ケラバ部より雨水が浸入。
ほこり等により、排出口が
ふさがれ内部に水が浸入。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	カラーベスト本体、ケラバ水切の交換
耐久性向上の提案	本体ケラバ部水切加工（排出経路の確保）

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　野地合板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

けらば水切からの漏水で
野地が腐朽した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地腐朽部の交換
耐久性向上の提案	けらば水切、けらば部本体の加工

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　野地合板　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　■変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

袖の出０の形状
けらば水切部分より吹き込んだ雨水により漏水。
野地板が腐朽した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地板腐朽部の交換
耐久性向上の提案	袖の出を取り、取合い部よりの漏水を防ぐ、板金加工

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４．５／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　■壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　壁際水切　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

塩ビ鋼板の表面塗膜が剥離し、板金が錆により腐食。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	壁際水切の交換
耐久性向上の提案	熱劣化、錆に強い鋼板に変更する。

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　■壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　外壁下地パネル　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　■汚れ
■かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

壁と屋根の取合部より雨水が浸入。
長期による雨漏れによって外壁下地パネルの腐朽。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	外壁、外壁下地パネル、接地屋根材交換
耐久性向上の提案	屋根外壁取合水切の追加、壁止まりの施工

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　■壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　壁際水切　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

壁際水切が腐食（錆）している。
進行すると孔あき、欠損して雨漏れをおこす。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	水切りの交換、部位によっては、葺き替えが必要
耐久性向上の提案	早い時期に錆止め、塗装する

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　■壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　壁際水切　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

壁際水切が腐食（錆）している。
進行すると孔あき、欠損して雨漏れをおこす。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	水切りの交換、部位によっては、葺き替えが必要
耐久性向上の提案	早い時期に錆止め、塗装する

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	東京都江戸川区
立 地 条 件	住宅密集地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（２５）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（棟板金　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

アンテナの雨だれで、棟板金が
腐食（錆）した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟板金の交換
耐久性向上の提案	錆に強い部材　ステンレス製に変更

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　棟板金　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟板金が風により欠落した。
留付釘の浮きや、木下地が
腐朽していたため、飛散した
と思われる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟板金の交換（木下地含む）
耐久性向上の提案	木下地（防腐処理）

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	東京都足立区
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　棟留付釘　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　■その他（浮き　）

棟板金の留付
釘が浮いている。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　■不明
補 修 内 容	棟留付釘の打ち増し
耐久性向上の提案	浮き防止の為、ステンレススクリング釘やビスに交換

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	塗装工事のみ
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（棟板金　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

強風で棟板金が飛散。
棟木下地が雨水により腐朽。
棟板金留め付け釘が錆びていた。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟木下地、棟板金の交換
耐久性向上の提案	棟木下地（防腐処理剤）、釘（ステン釘）に変更。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	千葉県佐倉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　) ■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　棟木下地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟木下地の腐朽
棟板金の取り付けに対する
保持力の低下



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟板金、木下地の交換
耐久性向上の提案	棟下地、防腐処理剤に変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ３ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　棟メタル　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟メタルの欠落
強風にあおられて、棟部の金属、 周辺本体共めくられ、飛散した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	本体自体の曲げ強度が低いため、葺き替え工事
耐久性向上の提案	野地に対する保持力も低下している場合は、野地張増

一覧へ戻る

物件所在地	不明
立 地 条 件	不明
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　■片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　■その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　野地　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

片棟部とけらば部
取合い部より漏水して、
野地が腐朽した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地腐朽部の交換
耐久性向上の提案	けらば、片棟部取合い板金加工、広小舞キャップ追加等

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　■不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

長期の雨漏れまたは、長期にわたる結露のより野地板の腐朽



主な作用因子	■雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地板の交換（本体、防水紙共）場合によっては隅木の交換
耐久性向上の提案	漏水本体隅部の水切加工（結露）小屋裏換気口の設置

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　隅木、野地　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

化粧スレートをはがして見ると、野地合板が腐朽。隅木まで腐朽していた。



主な作用因子	■雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	腐朽した部の交換
耐久性向上の提案	雨漏れまたは結露と思われるが、結露の場合、軒天と大棟に換気を設ける

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地（駐車場脇）
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　６／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（スレート本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

台風で棟際スレート本体が剥離。
飛来落下。



主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明 隣が広い駐車場の為、風当たりが強い。
補 修 内 容	破損部交換工事
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２９ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　■改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　防水下地　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

２９年たった改質アスファルトルーフィング釘孔止水能力もまだ問題ない。 経過観察



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	経過観察
耐久性向上の提案	

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２９ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　■改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　防水下地　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

２９年経った改質アスファルトルーフィング
野地板に漏水の形跡なし。
経過観察



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	経過観察
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　■改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　防水下地　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体劣化のため交換工事。
改質アスファルトルーフィングの状態。
やぶれ、縮み変形なし。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	問題なしだが、本体交換時は再度改質アスファルトルーフィングを施工が望ましい。
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

カラーベスト本体の重なり部より、雨水と共にほこりがたまり、雨水が本体下の防水紙上に浸入。
雨漏れするおそれがある。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	カラーベスト本体、防水紙の交換工事
耐久性向上の提案	防水性の高い商品（釘孔シール性）に変更

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　外壁木下地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　■汚れ
■かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

けらば部の雨漏れの跡
袖の出がないため、外壁の内側に漏水痕有。
かびも生えている。
このまま進行すると、木部の腐朽し大掛かりな交換が必要となる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	けらば雨漏れ部の補修、板金処理
耐久性向上の提案	袖の出を多く取る設計変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年不明
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　■けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　小屋裏　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　棟木、柱　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　■汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

屋根面の漏水による躯体
木材に含水。
長期に漏水を放置しておくと
枢体木材に腐朽する。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	枢体木材が腐朽している場合は交換（屋根材、外壁共）
耐久性向上の提案	屋根外壁の防水性の改善

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	東京都内
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（１５　）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　８　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　野地板　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

小屋裏に溜まる湿気が結露をして、野地が含水して腐朽した。



主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地の交換（本体、防水下地、野地交換）
耐久性向上の提案	結露防止の策として区切られた空間ごとに棟換気等をつける。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１０　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

野地板、下側がふさがれた空間があり、結露した水分によって野地が腐朽した。



主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	換気口の設置、棟換気
耐久性向上の提案	区切られた空間ごとすべてに換気を設ける

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１０　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

野地板、下側がふさがれた空間があり、結露した水分によって野地が腐朽した。



主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	換気口の設置、棟換気
耐久性向上の提案	区切られた空間ごとすべてに換気を設ける

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１０　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

野地板、下側がふさがれた空間があり、結露した水分によって野地が腐朽した。



主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	換気口の設置、棟換気
耐久性向上の提案	区切られた空間ごとすべてに換気を設ける

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１０　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

野地板、下側がふさがれた空間があり、結露した水分によって垂木が腐朽した。



主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	換気口の設置、棟換気
耐久性向上の提案	区切られた空間ごとすべてに換気を設ける

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１０　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

野地板、下側がふさがれた空間があり、結露した水分によって垂木、桁が腐朽した。



主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	換気口の設置、棟換気
耐久性向上の提案	区切られた空間ごとすべてに換気を設ける

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１０　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

野地板、下側がふさがれた空間があり、結露した水分によって垂木、桁が腐朽した。



主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	換気口の設置、棟換気
耐久性向上の提案	区切られた空間ごとすべてに換気を設ける

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１０　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

野地板、下側がふさがれた空間があり、結露した水分によって垂木、桁が腐朽した。



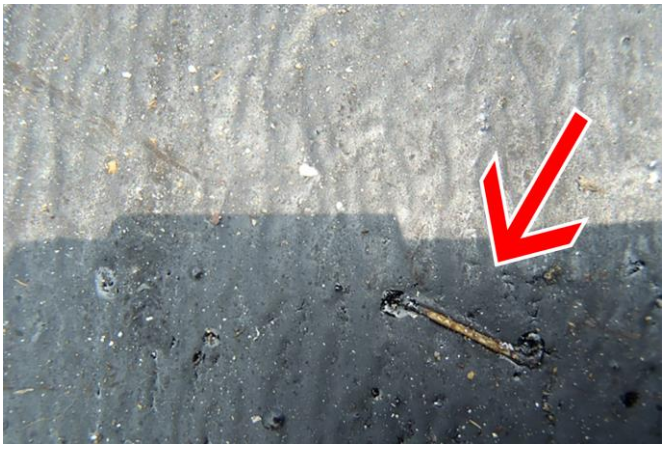
主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	換気口の設置、棟換気
耐久性向上の提案	区切られた空間ごとすべてに換気を設ける

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　■不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　■不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　防水下地　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

アスファルトルーフィング
９４０　下地留付ステープルの孔。
裂け、切れ、拡大なし。
経過観察



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	経過観察
耐久性向上の提案	

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２９ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　■改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　防水下地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

改質アスファルトルーフィングに化粧スレート本体に釘を打ち、引き抜いたら、釘にアスファルトが付着し止水されていた。
問題なし



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２９ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　■改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　シーリング　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

化粧スレート本体上に
太陽光システム
架台のビス留め
２８年たった今でも止水
されていた。
問題なし。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	
耐久性向上の提案	

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	塗装工事のみ
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（棟板金　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

強風で棟板金が飛散。
棟木下地が雨水により腐朽。
棟板金留め付け釘が錆びていた。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟木下地、棟板金の交換
耐久性向上の提案	棟木下地（防腐処理剤）、釘（ステン釘）に変更。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	塗装工事
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　釘　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟板金の留付鉄釘が錆びて腐食した。
今後腐食が進行して、釘頭が取れ、留付不良のため、棟板金が風で剥がれるおそれがある。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	留付釘の交換
耐久性向上の提案	鉄釘をステンレス製に交換またはステンレスビス

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県茂原市
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　■その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　３／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　■その他(　なし　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(　なし　)　□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　■化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 ■その他（　タイトフレーム直打ち　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　留付フックボルト　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

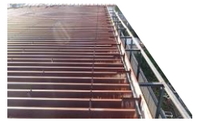
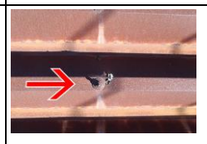
３０年で本体フックボルトに錆が発生し、留付能力の低下。
強風時にめくられた。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	留付ボルトの交換
耐久性向上の提案	ステンレス製など錆びないものに変更

一覧へ戻る

金属葺きによる経年劣化事例調査表

経年変化 要因・部位	劣化レベル１　経過観察		劣化レベル２　部分補修、部分交換		劣化レベル３　大規模改修、葺き替え
平部	 本体変色（緑青）	レベル２	 もらいサビ  折り曲げ部サビ  谷部サビ	レベル３	 瓦棒葺全体にサビ  折板全体にサビ  サビ表面剥離多数有３０年  本体表面のサビ腐食  横葺き野地の腐食
軒部		レベル２	 落雪　軒樋破損  落雪　軒樋破損  落雪　軒樋破損	レベル３	 軒先木部板金腐食  軒先木部腐朽  折板サビによる孔  軒先野地の腐食  軒先野地の腐食  木部の腐食
袖部					
壁際部					
棟部			 棟木下地腐朽  棟木下地腐食１５年		
谷部					
下葺き					 ９４０熱劣化折り曲げると割れる１５年
小屋裏					 野地の陥没  野地の陥没
緊結部			 鬼溶接部はがれ欠落３０年		 ボルトサビ　孔あき

TOPへ

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	千葉県成田市
立 地 条 件	市街地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　）年
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　■その他(寺　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　■入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　８　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

銅製屋根材は、初期では茶色だが、酸化することにより緑色に変わる。変色のみの場合は問題なし。
その後酸化が進むと、孔あきがおきて雨漏れがすることになる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　■化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	変色のみの場合、経過観察
耐久性向上の提案	銅の酸化による孔あきに対しては、材質の厚いものを使用する。

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（１８）年
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　■その他(商業施設　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　■その他（　ＲＣ造　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 ■硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)　■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　■雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　雪止　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雪止金具に錆が発生し、本体
表面にもらい錆が発生している。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	錆を取り除き錆止めをする。
耐久性向上の提案	鉄製は早期に錆が発生するので、ステンレス製のものに交換

一覧へ戻る

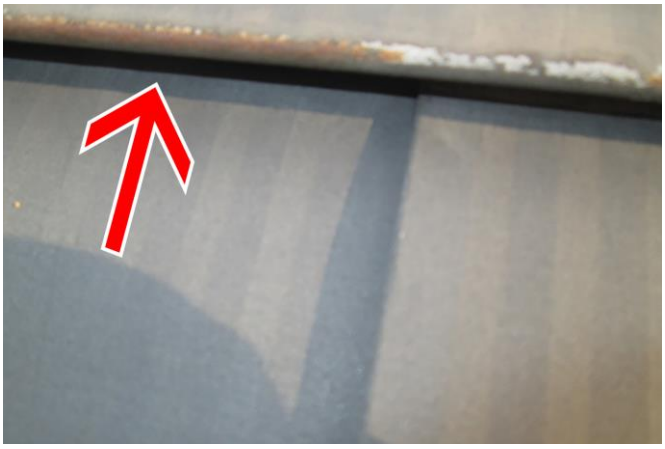
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（１８）年
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　■その他(商業施設　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　■その他（　ＲＣ造　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 ■硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)　■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　■雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

屋根材本体の曲げ加工部に
錆が発生している。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	錆を取り除き錆止めを施した後、再塗装
耐久性向上の提案	錆の発生しづらい塗膜材を指定する。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県勝浦市
立 地 条 件	山林地　　海岸線より２．５㎞
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（３０）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	３０年前に
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　■その他（孔あき　　）

本体谷部に錆が進行して孔があいている。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　■塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	本体の錆ている部分の交換　その他塗装工事
耐久性向上の提案	錆に強い材料に葺き替え

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県銚子市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（１．５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(フェルト１７kg　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

錆が本体全体に発生
している。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	一部でなく全体に錆が発生しているため、交換工事
耐久性向上の提案	錆に強い製品に葺き替える。

一覧へ戻る

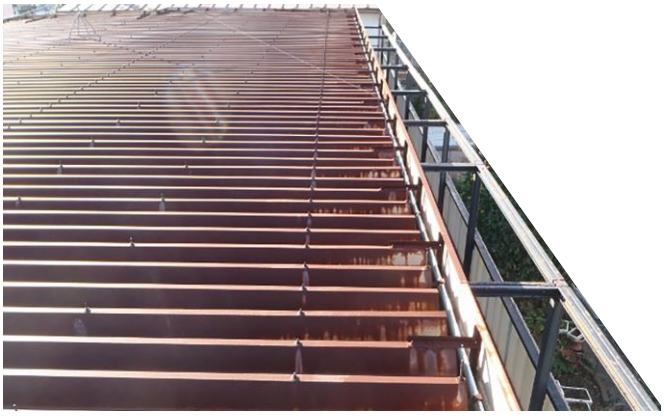
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ０．５ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　■その他(なし)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(　なし　)□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 ■その他（タイトフレームボルト止め）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（ 孔あき　）

折半屋根材全面に錆発生。
孔あき。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	折半カバー工法または交換（葺き替え）
耐久性向上の提案	錆に強い材料に変更

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根)】

物件所在地	千葉県勝浦市
立 地 条 件	山林地　　海岸線より２．５㎞
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（３０）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　　■寄棟　　□片流れ　　□入母屋　　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　　□その他(　　)　　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　　□プラスチック系　　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　　□土葺　　□直葺（野地板直打ち）　　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	３０年前に
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　　□３階　　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　　□西　　□南　　□北　　□不明

経年変化記録　部材（　本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　　■その他（孔あき　　）

本体谷部に錆が進行して孔があいている。表面塗膜の剥離。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　■塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	全面に錆が発生のため全交換（葺き替え）
耐久性向上の提案	錆に強い材料に葺き替え

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	神奈川県
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　■片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) ■パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　■その他（ドーマ屋根　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

金属屋根材本体の塗装膜がなく
なり、前面に錆が発生。
錆が進行すると孔あき、雨漏れ、
木下地の腐朽となる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	屋根材交換（葺き替え）
耐久性向上の提案	錆に強い金属材を使用する。

一覧へ戻る

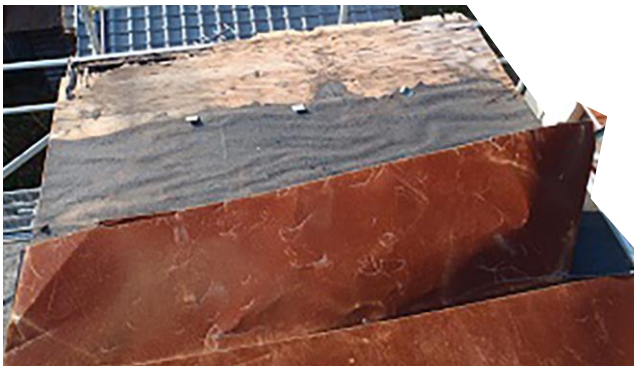
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	神奈川県
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　■片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) ■パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　■その他（ドーマ屋根　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　野地　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨水が軒先裏側にまわり、
野地が腐朽。
風により屋根材がめくれた。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地板（腐朽した部分）の交換後、新規屋根財の施工
耐久性向上の提案	軒先部の形状、または、屋根勾配変更し、水のまわらないようにする。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　1　）年
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　■その他(倉庫　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　4　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　■その他(　なし　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(　なし　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 ■その他（　鉄骨直張り　　）　□不明
改 修 履 歴	1年前にスレート屋根から折半に変更
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　雨樋　　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

屋根面より滑落した雪が雨樋にかかり、荷重により割れた。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨樋交換補修
耐久性向上の提案	屋根面に雪止の設置

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　1　）年
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　■その他(倉庫　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　4　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　■その他(　なし　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(　なし　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 ■その他（　鉄骨直張り　　）　□不明
改 修 履 歴	1年前にスレート屋根から折半に変更
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　雨樋　　）(説明文・写真・図)

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

屋根面より滑落した雪が雨樋にかかり、荷重により割れた。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨樋交換補修
耐久性向上の提案	屋根面に雪止の設置

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　■入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　雨樋　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

銅板平葺屋根の積もった雪が滑落時に雨樋に荷重がかかり欠損



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	雨樋を付け直し
耐久性向上の提案	雨樋吊金具の数を 2 倍にしてビス留め。強度補充

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県佐倉市
立 地 条 件	住宅団地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（３０）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　２／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) ■パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　) ■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	塗装工事
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（軒先(鼻算)　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

瓦棒葺き（真木なし工法）
軒先部に水が溜まり、錆びて
腐食、欠損。
雨水が浸入して木部が腐朽していた。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	葺き替え工事　野地板補修
耐久性向上の提案	たてひら葺、軒先水切の改良変更

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県銚子市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ４０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ １．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(フェルト 17kg　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　野地板　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

軒先部の雨漏れが以前からあり、野地板が腐朽



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地板（腐朽した部分）の交換後、新規屋根材を葺く。
耐久性向上の提案	軒先部防水紙２重張り

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ０．５ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　■その他(なし)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(　なし　)□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 ■その他（タイトフレームボルト止め）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（孔あき）

折半屋根材全面に錆発生。
孔あき。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	折半カバー工法または交換（葺き替え）
耐久性向上の提案	錆に強い材料に変更

一覧へ戻る

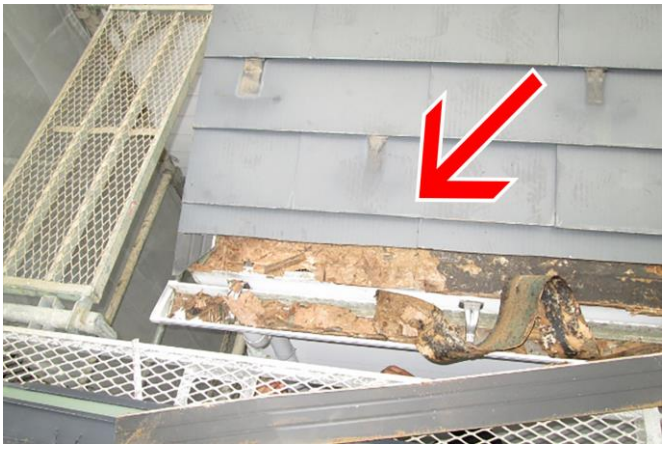
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（１５）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 ■枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) ■パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　軒先野地　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨樋の跳ね返った水が、
軒先裏側にあたり、長
年の間で野地が腐朽した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	既存屋根材撤去、野地補修、新規屋根材施工
耐久性向上の提案	野地材耐水合板、軒先水切形状を変更、雨樋をさげる。

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（２０）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１．５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（軒先野地　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

瓦棒葺断熱材付き。
軒先部より侵入した水が断熱材により吸収し、長期にわたり水分を含み、野地が腐朽した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	板金撤去、野地補修、新規瓦棒葺
耐久性向上の提案	断熱材は端部（雨水にあたる部分）まで敷きこまない。

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（　）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　■不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　軒先野地　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨水が軒先裏側にまわり、野地が腐朽。
風により屋根材がめくれた。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	野地板（腐朽した部分）の交換後、新規屋根材の施工
耐久性向上の提案	軒先部の形状、または、屋根勾配変更し水の回らないようにする。

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	15 年前にコロニアルの上にカバー工法
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（棟木下地　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨水が隅棟板金木下地の下にたまり、吸水して木が腐った。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟木下地の交換
耐久性向上の提案	下地材を腐朽材に変更（防腐処理剤、合成樹脂等）

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県佐倉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	20 年前にコロニアルの上に金属横葺きを施工
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　棟板金　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟板金の木下地が直に金属に留めつけているため、雨水を吸収し長期にわたり含水。
棟板金、釘が腐食して飛散した。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟木地を本体から少しあげて、止水面戸をいれ雨水の浸入を防ぐ。 棟木地、棟板金の交換
耐久性向上の提案	棟下地を吸水しない材質に変更（合成樹脂材）

一覧へ戻る

物件所在地	千葉県千葉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４　／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	15 年前にコロニアルの上にカバー工法
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（防水下地　　）（説明文・写真・図）

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　■縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

コロニアルの上に金属屋根材を
カバー工法にて施工。
防水下地 940 が熱劣化により硬化
して縮み、割れがおきた。
防水性能の低下
雨漏れ



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	葺き替え工事
耐久性向上の提案	防水紙の変更（カラーベストに付く、粘着性高耐久性能品）

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県佐倉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（２．５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) ■パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（野地板　　）（説明文・写真・図）

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨漏れ部より雨水の浸入により、野地板（パーティクルボード）が吸水し腐朽。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	屋根材撤去、野地板交換、新規屋根材施工
耐久性向上の提案	耐水合板に変更する。

一覧へ戻る

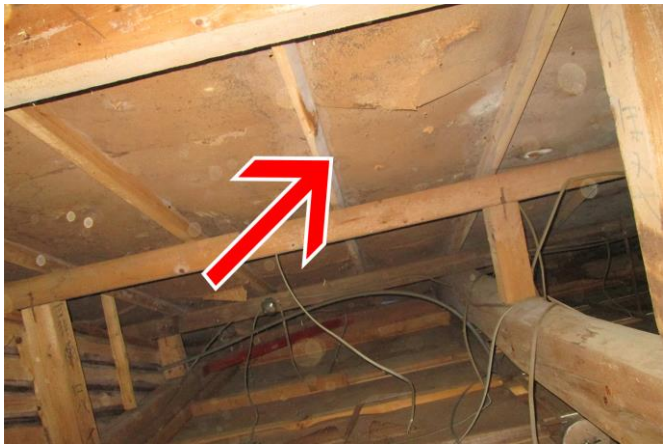
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県佐倉市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（２．５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) ■パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（野地板　　）（説明文・写真・図）

□ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　■腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

雨漏れ部より雨水の浸入により、野地板（パーティクルボード）が吸水し腐朽。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	屋根材撤去、野地板交換、新規屋根材施工
耐久性向上の提案	耐水合板に変更する。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県勝浦市
立 地 条 件	山林地　　海岸線より２．５㎞
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（３０）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　　■寄棟　　□片流れ　　□入母屋　　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　　□木材(バラ材)　■木材(幅板)　　□その他(　　)　　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)□不明
瓦　桟　木	■木質系　　□プラスチック系　　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　　□土葺　　□直葺（野地板直打ち）　　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	３０年前に
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　　□西　　□南　　□北　　□不明

経年変化記録　部材（　鬼瓦　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　　□その他（　　）

鬼瓦のはんだ付けにて
留め付けてあった。
錆による腐食して欠損。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	腐食部分を交換、鬼瓦を新規取り付け
耐久性向上の提案	風等で取れやすい部位は、ボルト留め等で補強する。

一覧へ戻る

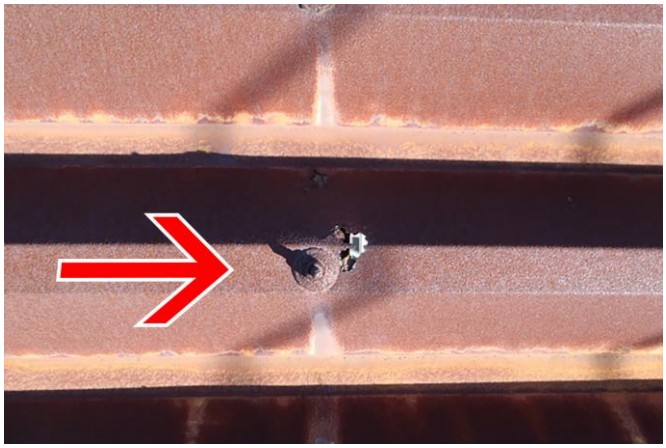
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ０．５ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　■その他(なし)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(　なし　)□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　■金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 ■その他（タイトフレームボルト止め）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　留付ボルト　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（ 孔あき　）

留め付ボルトの腐食
錆による周辺に孔あき雨漏れ。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	葺き替え工事
耐久性向上の提案	ボルトは、錆に強いステンレス製に変更

一覧へ戻る

シングル葺きによる経年劣化事例調査表

経年変化 要因・部位	劣化レベル１　経過観察	劣化レベル２　部分補修、部分交換	劣化レベル３　大規模改修、葺き替え
平部		 苔の発生  苔の発生  強風にてはくり欠損  強風にてはくり欠損	 砂落ち　現在廃番品  反り・割れ　現在廃番品  台風によるめくれ  反り
軒部			
袖部			
壁際部			
棟部			 砂落ち　割れ
谷部			
下葺き			
小屋裏			
緊結部			

TOPへ

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　■不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（シングル本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　■汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

こけが発生している。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	洗浄後、剥離部がある場合、ボンド止め、または交換。
耐久性向上の提案	こけの付きづらい材料に葺き替え

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	■１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（シングル本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　■汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

こけが発生している。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	洗浄後、剥離部がある場合、ボルト止め、または交換。
耐久性向上の提案	こけの付きづらい材料に葺き替え（陶器釉薬瓦、金属等）

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(パラペット　)　□不明
屋 根 勾 配	（　１０／１０）勾配以上
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)　■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（シングル本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体１部が剥離している。



主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	シングル本体　部分交換
耐久性向上の提案	耐風性能の高い商品に葺き替える。（金属他）

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　■不明
屋 根 勾 配	（ １０／１０）勾配以上
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（シングル　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体１部が剥離している。



主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	シングル本体部分交換
耐久性向上の提案	耐風性能の高い商品に葺き替える（金属他）

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　■不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（シングル本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

表面のコーティング材
（砂）が欠損



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　■雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	カバー工法、または、葺き替え工事
耐久性向上の提案	表面耐久性の高い商品に交換

一覧へ戻る

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　■不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　■不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（シングル本体　　）（説明文・写真・図）

■ひび　■割れ　□剥離　□欠損　□変形　■反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体が硬化してひび割れしている。
またジョイント部にこけが発生。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	カバー工法または、葺き替え工事
耐久性向上の提案	

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉市岬町
立 地 条 件	畑の中の家
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（２５）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　６／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（シングル本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

台風の後、本体下部に剥離飛散した。



主な作用因子	□雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	部分交換
耐久性向上の提案	カバー工法または葺き替え

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　■不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　■不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　シングル本体　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　■変形　■反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　□汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

剥離が多数有
こけが発生
変色、変形、反り



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	葺き替え工事
耐久性向上の提案	

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県岬町
立 地 条 件	畑の中の家
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（２５　）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　６／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　)　■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 ■アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　シングル棟　）(説明文・写真・図)

■ひび　■割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

シングル棟（本体と同質）
表面の砂が落ちている。
また、基材自体の割れがある。

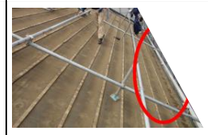
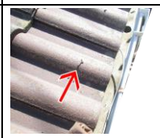


主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	棟部シングルの交換
耐久性向上の提案	葺き替え工事

一覧へ戻る

セメント瓦葺きによる経年劣化事例調査票

作成者：一般社団法人 全日本瓦工事業連盟 杉浦憲児、石川弘樹

経年変化 要因・部位	劣化レベル１　経過観察	劣化レベル２　部分補修、部分交換	劣化レベル３　大規模改修、葺き替え
平部	 塗膜劣化　こけ発生	 再塗装膜の剥離  塗膜の劣化	 基材の劣化塗膜の消失  本体基材の剥離１２年  本体基材の剥離１２年
軒部	 北面結露軒先部に雨染み	 軒釘の浮き  塗膜の剥離	
袖部		 袖釘のサビ	
壁際部			
棟部	 塗膜の劣化  ナンバンモルタルの変色黒→白	 釘の浮き  棟土流出  棟メンドの欠落	
谷部			
下葺き			
小屋裏			
緊結部			

TOPへ

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地　裏に畑がある
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	なし
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（セメント瓦本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　■汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

表面塗膜が劣化している。
裏の畑のほこりにより北面に著しくこけが生えている。
ほこり、こけにより、本体重なりから吸収して雨漏れをするおそれ有。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　■ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	洗浄により、こけ、ほこりの除去、塗装工事 ※この商品は、塗膜下にスラリー層があるため、塗膜が剥離しやすいので注意
耐久性向上の提案	スラリー層専用の下地処理をしてからの再塗装

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０ ）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 ■共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（４．５　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	10 年前に塗装
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　■汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

再塗装された塗膜が
劣化し、剥離している。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	洗浄により、こけ、ほこりの除去、塗装工事 ※この商品は、塗膜下にスラリー層があるため、塗膜が剥離しやすいので注意
耐久性向上の提案	スラリー層専用の下地処理をしてからの再塗装

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ６ ／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　■南　□北　□不明

経年変化記録　部材（本体　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　■汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体塗膜が劣化し、本体基材（セメント）が露出している。本体（セメント）が露出すると吸水し割れが発生するおそれ有。ひび、割れにより欠落、漏水のおそれ有。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	洗浄により、こけ、ほこりの除去、塗装工事 ※この商品は、塗膜下にスラリー層があるため、塗膜が剥離しやすいので注意
耐久性向上の提案	スラリー層専用の下地処理をしてからの再塗装

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	東京都中央区築地
立 地 条 件	住宅密集地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ５０ ）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　■木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　■その他(　フェルト 17kg　　）□不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　■その他（　なし　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	棟部にセメント詰めをしていた
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　　）(説明文・写真・図)

■ひび　■割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　■汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体の塗膜がなくなり、基材（セメント）がむき出しになっている。ひびや割れが多く見られる。
雨漏れが発生している。
瓦が割れ欠落している。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	本体がもろく割れているため、葺き替え工事
耐久性向上の提案	塗膜の高耐候の商品で葺き替える

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年～（２０）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　■不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　■不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　■不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体の先端部より雨水を
吸収し、凍結膨脹により、
表面剥離。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	屋根面全体に症状が見られるため、交換工事
耐久性向上の提案	強度の高い商品に変更（凍害に強い）

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １５ ）年～（２０）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）■不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　■不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　■不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　□プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　■不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　■不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体の先端部より雨水を
吸収し、凍結膨脹により、
表面剥離。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	屋根面全体に症状が見られるため、交換工事
耐久性向上の提案	強度の高い商品に変更（凍害に強い）

一覧へ戻る

物件所在地	不明
立 地 条 件	
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（２０）年推定
建 物 用 途	□戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　　／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	■平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　防水紙　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

北側、瓦の下の防水紙表面が軒先部が著しく濡れていた。
雨漏れでなく結露と思われる。
常に濡れている状態が続くと、瓦桟の腐朽、瓦の欠落の原因となる。
また、野地板の腐朽の原因にもなる。



主な作用因子	□雨水　■結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	水分を放出するようにする。瓦桟の水抜き、棟部の換気の取り付け
耐久性向上の提案	

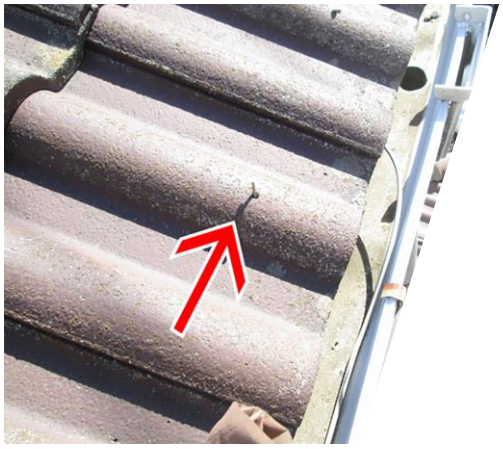
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（軒先釘　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（浮き、ぬけ　）

軒先留付け銅釘全体に浮きがみられ、抜けてきている。
銅の熱により、膨脹伸縮を繰り返したため、浮いてきたと思われる。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	銅釘を打ちなおす。
耐久性向上の提案	ステン釘またはビスに変更。戻り止め加工されたものを使用。

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地　裏側が林
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ 6 ／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	なし
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　本体　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体表面塗膜が剥離して水を吸水し、こけが生えている。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	こけを取り除き、また剥離をしている塗膜も除き、本体基材に含浸する下地処理　再塗装
耐久性向上の提案	表面塗膜と基材が剥離している場合、下地処理をきちんとして、塗材が基材に含浸するように注意する

一覧へ戻る

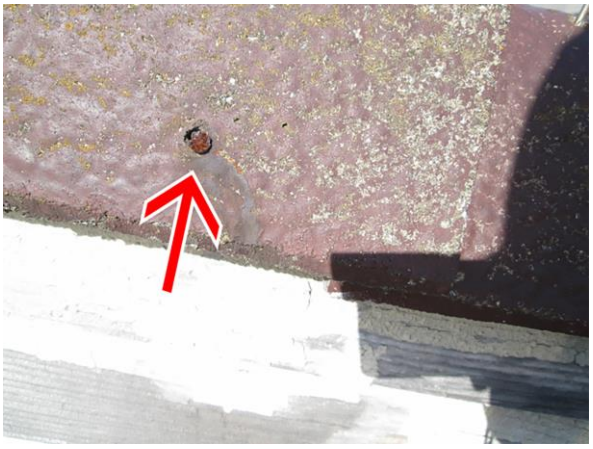
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（袖留付釘　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　■腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

袖瓦の留付釘の腐食（錆）が進行すると、釘強度が落ち袖瓦が欠落するおそれがある。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　■塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	錆やすい鉄釘を交換、袖付け直し
耐久性向上の提案	錆づらいステンレス釘に変更する

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地　裏側が林
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ６ ／１０）勾配
下地(野地板)	■構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	なし
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（棟瓦　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　■剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　■こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

本体表面塗膜が剥離して水を吸水し、こけが生えている。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　■植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　■紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	こけを取り除き、また剥離をしている塗膜も除き、本体基材に含浸する下地処理　再塗装
耐久性向上の提案	表面塗膜と基材が剥離している場合、下地処理をきちんとして、塗材が基材に含浸するように注意する

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県市川市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ １０ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　) ■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　■不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　□２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　□不明

経年変化記録　部材（ナンバンモルタル　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　■変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

棟瓦の留付に使用されるナンバンモルタルの変色。
新築時は黒から白色に変色。
灰墨がなくなっているだけで防水性には何ら問題はない。
今後、ひび、剥離、欠落がおきた場合補修が必要と思われる。



主な作用因子	■雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	現時点は経過観察
耐久性向上の提案	ひび、割れ、欠落の箇所があればナンバンモルタル部補修

一覧へ戻る

【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県習志野市
立 地 条 件	住宅地　裏に畑がある
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２０）年推定
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	□軸組構法 □枠組壁工法 ■プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　■その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　□不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	なし
発 生 部 位	■平部　□軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　■北　□不明

経年変化記録　部材（棟釘　　）（説明文・写真・図）

□ひび　□割れ　□剥離　□欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　■その他（　浮き　抜け　）

棟瓦留付銅釘全体に浮きが見られ抜けてきている。
銅の熱により、膨脹伸縮を繰り返したため浮いてきたと思われる。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　■低温　■高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	銅釘を打ちなおす。
耐久性向上の提案	ステン釘またはビスに変更。戻り止め加工されたものを使用。

一覧へ戻る

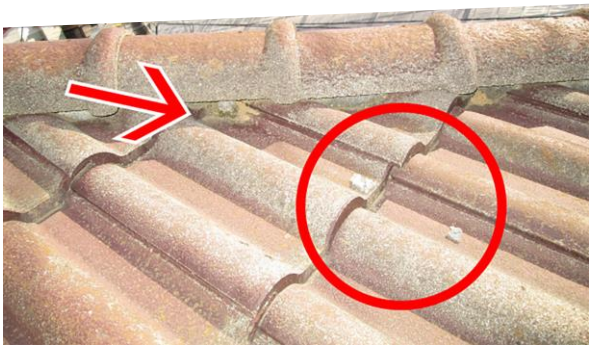
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県船橋市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ２５）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	■切妻　□寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（　４．５／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	■アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）□不明
瓦　桟　木	■木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　□不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	■引掛桟工法（空葺）　□土葺　□直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	
発 生 部 位	□平部　■軒部　□けらば部　□大棟　□隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	■東　■西　■南　■北　□不明

経年変化記録　部材（　棟、シックイ　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　■剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　□汚れ
□かび　□こけ　□堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

当時棟瓦の留付に粘土を使用し、表面にシックイを塗り、流出止めにしていた。
シックイが剥離して、中の粘土が雨水により流出している。



主な作用因子	■雨水　□結露水　■風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　□鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明
補 修 内 容	流出した粘土を入れて、表面のシックイを交換
耐久性向上の提案	棟瓦を外し、粘土シックイを取り除き、剥離の少ないナンバンモルタルに全交換する

一覧へ戻る

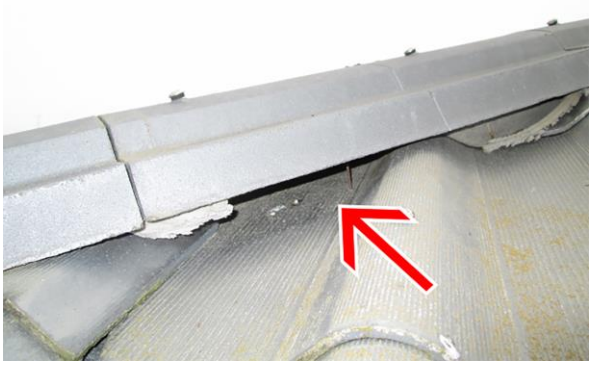
【木造住宅の外皮経年変化事例調査シート（屋根）】

物件所在地	千葉県八千代市
立 地 条 件	住宅地
竣 工 経 年	（　　）年　～　（　　）年　＝（ ３５ ）年
建 物 用 途	■戸建住宅 □共同住宅　□その他(　　)
建 物 構 法	■軸組構法 □枠組壁工法 □プレハブ構法　□その他（　　）□不明
屋 根 形 状	□切妻　■寄棟　□片流れ　□入母屋　□その他(　　)　□不明
屋 根 勾 配	（ ４／１０）勾配
下地(野地板)	□構造用合板　□その他の合板(コンパネ等) □パーティクルボード　□硬質木片セメント板 □硬質木毛セメント板　□木材(バラ材)　□木材(幅板)　□その他(　　)　■不明
防 水 下 地 （下葺）	□アスファルトルーフィング 940　□改質アスファルトルーフィング　□透湿ルーフィング □高分子系ルーフィング　□土居葺き　□樹皮系　□その他(　　）■不明
瓦　桟　木	□木質系　□プラスチック系　□その他（　　）　■不明
仕 上 げ 材	□粘土瓦　■プレスセメント瓦　□化粧スレート　□金属 □アスファルトシングル・不燃シングル　□その他（　　）　□不明
屋 根 構 法	□引掛桟工法（空葺）　□土葺　■直葺（野地板直打ち）　□通気たて桟構法 □その他（　　）　□不明
改 修 履 歴	コロニアルから波形化粧スレートに 15 年前にカバー工法
発 生 部 位	□平部　□軒部　□けらば部　■大棟　■隅棟　□その他棟部　□谷部　□壁際部 □トップライト　□雪止　□煙突　□その他（　　）□不明
発　生　階	□１階　■２階　□３階　□その他（　　）　□不明
方　　位	□東　□西　□南　□北　■不明

経年変化記録　部材（　棟面戸　　）(説明文・写真・図)

□ひび　□割れ　□剥離　■欠損　□変形　□反り　□縮み　□ずれ　□腐食（錆）　□腐朽　□変色　■汚れ
□かび　□こけ　■堆積物有り　□シーリング切れ　□その他（　　）

鳥が面戸をついばんで、棟内部に巣を作っていた。
棟面戸は棟部の止水面戸であるため欠損することによって雨漏れをおこす恐れがある。



主な作用因子	□雨水　□結露水　□風　□地震　□雪　□低温　□高温　□虫　■鳥　□植物　□塩分 □踏み割れ　□飛来物　□ほこり　□火山灰　□化学物質　□紫外線 □その他（　　）　□不明 鳥が棟部に使用されている止水面戸を取り除き、棟の中に巣を作っていた。
補 修 内 容	鳥の巣を取り除き、新たに面戸材を取り寄せて再施工する。 廃板品のため不可。
耐久性向上の提案	他の資材で代用。鳥がついばめないようにブチルテープ付のシートで棟内部を塞ぐ。 乾式棟換気シート

一覧へ戻る